

給食だより



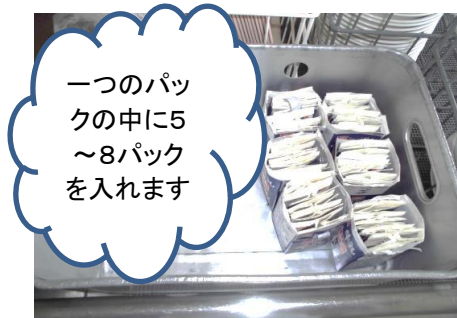
西東京市立保谷第二小学校
校長 神山 繁樹
栄養士 小谷野 寿江

No. 9

3学期も後半となりました。本校でも学級閉鎖となりましたが、元気に登校してくる子供たちも多いようです。しかし、まだまだ油断できません。マスクをご持参いただけますと、当日当番が急に欠席となった際にお手伝いをお願いできます。また、マスクは、自分自身をウイルスから守るためのアイテムの一つです。給食当番でなくとも、この季節は、マスクをご持参いただくと助かります。ご協力をお願いいたします。



紙パックの牛乳もじょうずに片づけられるようになりました。



一つのパックの中に5～8パックを入れます

平成30年度から、飲用牛乳が200mlの瓶から紙パックに変わりました。前年度の3月に、パックの片付け方を練習していましたが、毎日の取り組みで、いまでは一年生でもじょうずに折りたたんで片付けることが出来るようになりました。

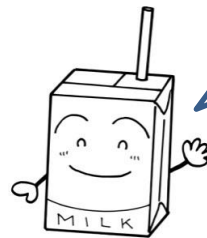
家庭では、パックを切り開いて洗浄し、乾かしてからの回収ですが、学校で洗浄・乾燥する場所がありません。そこで、子供たちには、飲み残しが無いように、折りたたんだ紙パックを、さらにコンパクトにまとめて、給食室に返却してもらっています。もちろん、牛乳が苦手な場合もありますが、飲み残した場合は、調理員が一つずつパックを開いて中身を空にして、折りたたんでからいくつかのパックを一つにまとめる作業をしています。

学校全体では、一日に、700の袋に2つになり、それを、メーカーが回収しています。

メーカーでは、各校から回収されたパックを、機械で洗浄・粉砕してから、リサイクル業者に渡しています。洗浄・粉砕の担当者は、たった2名で交代制。実際は一人での作業です。リサイクル業者は、リサイクル紙やトイレットペーパーなどに活用しているようです。

子供たち一人一人の取り組みが、円滑な学校給食の実施や社会貢献に繋がっている

子供たちの体づくりのために、戦後はララ物資として脱脂粉乳の援助を受け、各校で給食時間に飲むようになりました。当時は、粉末で保存ができるので、便利な食品だったと思われます。やがて、脱脂粉乳よりも飲みやすい「牛乳」の流通が始まりました。牛乳は、テトラパック・瓶入り・紙パックと形態を変えながら、学校給食をとおして、児童の成長の一端を担っています。



脱脂粉乳は、アルミのポットに入れて、教室でアルミのお碗に次ぎ分けて飲みました。ストーブの上に置いて、少し温めて飲むこともありました。



食事の時に、気を付けよう！ その行動は、もしかしたら、マナー違反ですよ。



食事にふさわしくない話をする



食事中に用もないのに立ち歩く



ふざけながら食べる



早食い競争をする



口の中に食べ物をいれたまま話をする



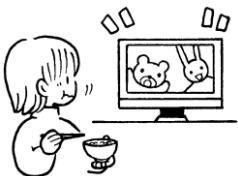
わざと食器の音を立てる

「ながら食べ」していませんか？

料理は、五感により味わいが変わります。ながら食べは、料理の味わいだけでなく胃腸の働きにも影響を与えます。また、食事の姿勢は、からだのねじれや歪みにもつながっていきます。できるだけ、ながら食べをしないように気を付けましょう。



ゲームや携帯電話を操作しながら食べていませんか？



テレビを見たり、本を読んだりしながら食べていませんか？



和食の時には、ご飯茶碗や汁椀は、手に持って食べましょう！

給食中に、まだまだ茶碗を手に持たず、お盆の上に置いたままで食べている光景があります。①茶碗を手に持って食べると、箸でご飯を口に運ぶ距離が短くなって、食べやすくなる。②背中が丸まらず、美しい姿勢で食べることができる。と声をかけていますが、なかなか習慣にはなっていません。片手は机の下で、茶碗が不安定な状態で、片手で食べている場合もあります。

ご家庭でも、このような時は、ぜひ、ひと声かけて、自然と茶碗を持って食べられるようにご協力をお願いいたします。